

福德岡ノ場の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

福德岡ノ場で海底噴火が発生した模様です。

気象衛星ひまわりの観測によると、福德岡ノ場で、本日（13日）06時20分頃から噴煙が観測されています。噴煙高度は約16000mで推移し、その後も継続しています。

防災上の警戒事項等

福德岡ノ場の付近および周辺海域では海底噴火に警戒が必要です。周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意が必要です。

平成19年12月1日に噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報を発表しています。

○ 活動概況

気象衛星ひまわりの観測によると、福德岡ノ場（硫黄島から南約50kmにある海底火山）で、本日（13日）06時20分頃から噴煙が観測されています（図1）。

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています（図2）。平成22年2月3日には小規模な海底噴火が発生しています。

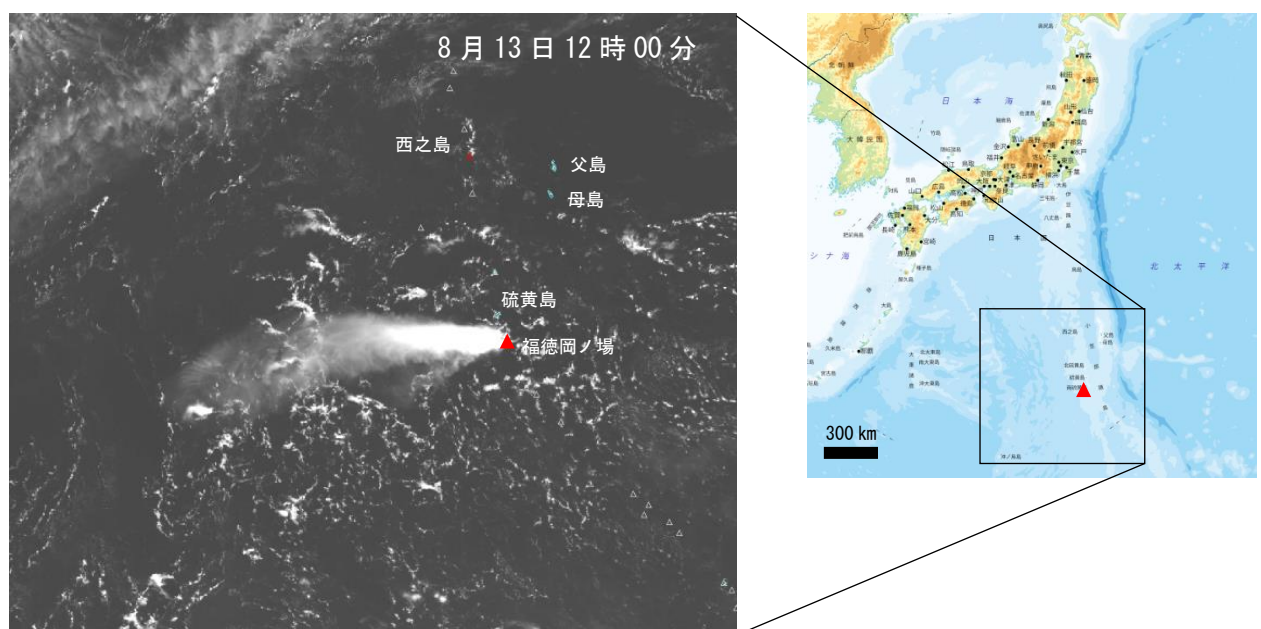


図1 福德岡ノ場 気象衛星ひまわりの画像（8月13日）

- ・本日（13日）06時20分頃から噴煙が観測され、西へ流れています。
噴煙高度は約16,000mで推移し、その後も継続しています。

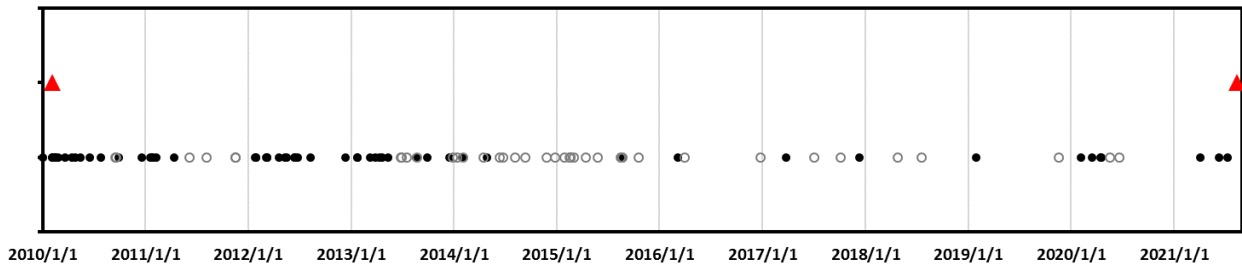


図2 福徳岡ノ場 2010年以降の活動状況

シンボルがあるタイミングで観測が行われています。●は変色水域が認められた観測、○は変色水域が認められなかった観測、▲は噴火が認められた観測を示します。2010年2月3日には小規模な海底噴火が発生しています。

- ・2010年の噴火以降もたびたび海水変色が認められています。本日（13日）噴火が発生した模様です。

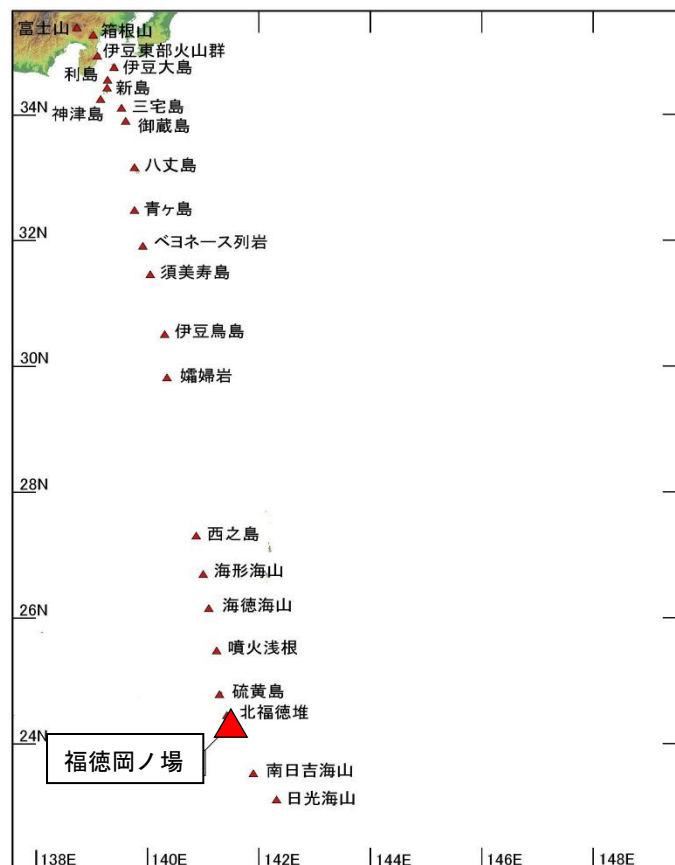


図3 伊豆・小笠原諸島の活火山分布と福徳岡ノ場の位置図

地図は、日本活火山総覧（第4版）から引用。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は、気象庁のほか、海上保安庁のデータを利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。